

牛久市総合教育会議議事概要		日時	令和6年6月17日（月曜日）
件名	令和6年度第1回牛久市総合教育会議	場所 時間	牛久市役所 本庁舎3階庁議室 午後3:00～午後4:20
出席者	(出席者) 沼田市長、川村教育長、石井教育長職務代理者、吉原教育委員、八木橋教育委員、宮本教育委員 (事務局) 小川教育部長、吉田教育委員会次長、高橋教育委員会次長、教育総務課宮嶋課長補佐、小河原主査 糸賀経営企画部長、淀川経営企画部次長兼政策企画課長、政策企画課山根課長補佐、本谷主任、 高橋主任 (傍聴者) 0名 <div style="text-align: right;">(順不同・敬称略)</div>		
議事内容	(1) ICT教育について (2) 教育大綱及び第2期牛久市教育振興基本計画の策定に向けて (3) その他		
会 議 内 容 等			
1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 教育長あいさつ 4. 議事 (1) ICT教育について（教員のICT活用指導力アンケートの結果について） 上記について川村教育長より説明を行い、出席者が意見を述べる。 なお、主な意見は以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT関係の分野というのは、令和3年、4年のコロナ禍の時期には伸びてくる数字である。それが、伸びずに今も変化がないということは、これら指標に対して対策をとってこなかった結果であり、早急な対応が必要である。 ・ 教員の指導能力の差によって生徒の学習に影響が出てはならない、各校の情報教育主任を集めての研修会やICT指導員の支援の実施等、教員間での指導方法の共有が必要である。 ・ ICT関係の教育については学校間、クラス間で指導内容に格差があるように感じるこういった格差を埋めて子供たちが平等に教育を受けられるようにしなければならない。 ・ 現在次年度のパソコン方針について指導を行う上で何が必要であるかについてアンケートを取っているところである。それらの結果をうまく吸い上げながらソフト面での強化も行っていきたい。 			

(2) 教育大綱及び第2期牛久市教育振興基本計画の策定に向けて

上記について川村教育長及び事務局より説明を行い、出席者間での意見交換を行う。

主な意見は以下のとおりである。

- ・ 策定スケジュールについては、コンサルが入ってる以上進んでいくものであるのでICTも含めて大きく変わる変更点だけ重視していけばいいのではないかと。児童たちに対してのより良い教育方針を定めていただきたい。
- ・ 現在、文科省より出ている指針について内容がかなりチャレンジングなものになっている。それらをどういった形で市の教育方針に落とし込んでいくかが課題である。道徳的、先進的な教育の双方を取り入れたうえで5年、10年先の変化も見据えた方針としていかなければならない。
- ・ 文科省の方針が変わるたびに揺れているのが今の日本の教育になっている。市の教育方針の根幹を定めたとえでその時勢ごとに必要なものを取り入れていく形が必要ではないかと。
- ・ 不登校、いじめについても大きな問題となっている、根本的な解決に学校がどこまで関与できるかが課題である。

(3) その他

5. 閉会